

津田小学校 (3) 年

◆「見えない学力・見える学力」における津田小の子どもたちの課題

【見えない学力】

- ・ 忍耐力、粘り強さ、やり切る力
- ・ 共感性

【見える学力】

- ・ 基礎学力（漢字理解力）
- ・ 文章読解力
- ・ 計算力（四則計算）

めざす子ども像

- ①すべてが大切な存在 互いを認め合う仲間づくり◎
- ②「できた」「わかった」「がんばった」等 自己肯定感↑
- ③伝え合って互いを理解する コミュニケーション力↑

◆R06 校内研テーマ

「仲間とつながる授業づくり～きょうどう）学習を通して～」

◆学年としての取組をする上で、明確にしておきたいこと。

【子どもたちにつけたい見えない学力】

- ・ わからないときには、ペア（グループ）に聞く。
- ・ 答えを求めるだけでなく、その過程を説明する活動を取り入れる。
- ・ 相手のことを知る活動を通して、共通点や相違点を見つける。
- ・ 誰かの意見や考えの良いところ（参考になった、考えが広まった・深まった）を見つけ、発表する機会を設ける。

【子どもたちにつけたい見える学力】

- ・ 漢字の学習の際に、漢字の意味を知る時間をとる。 →漢字理解力・文章読解力
- ・ 新出漢字を学習する時に「読む」活動を取り入れる。 →漢字理解力・文章読解力
- ・ ペアで本の読み聞かせを行う。 →文章読解力
- ・ たくさんの問題に触れる。 →計算力

【個別最適な学びの充実に向けた取組】⇒ すべての児童に対して

①指導の個別化・学習の個性化の取組

- ・ 課題に向き合う時に、取り組み方を選択できるようにする。
- ・ いくつかのレベルに合わせたヒントを用意する。

②支援教育の観点に向けた取組

※支援学級・通級指導在籍児童については「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」もふまえて

- ・ 支援担を含めた教材研究を行い、個に応じた教材を用意する。

【協働的な学びの充実に向けた取組】⇒ **すべての児童に対して**

①協働的に取り組む学習活動

- ・ペア、グループでの活動を多く取り入れる。
- ・答えを求めるだけでなく、その過程を説明する活動を取り入れる。

②人権教育の観点に基づいた取組 ⇒ **日々の学習活動を通して**

- ・相手を思いやった言葉遣いや態度の育成を行えるよう、日々の授業や生活場面で指導していく。
- ・性教育

【校内研のテーマに対する取組】

- ・授業の導入で「やってみたい」と思う教材・教具を取り入れる。
- ・授業の中で、ペア活動・班活動・チーム活動・教え合い活動をして、協働的な学びを取り入れる。

【SDGs の取組】（「やり切る」が大事！）

テーマ： 3：すべてのひとに健康と福祉を

→道徳の「耳の聞こえないお母さん」を導入に福祉について学ぶ。

【道徳教育のあり方】

内容項目について児童に揺さぶりをかける発問を行い、日常生活に生かせる道徳的価値を身につける。